

犯罪被害者支援団体の活動実態・支援ニーズに関する調査 (代表者様向け)

【ご記入にあたって】

- 本調査は、内閣府による「犯罪被害者団体・犯罪被害者支援団体に関する調査」の一環として行うものです（アンケートの回収、集計業務については株式会社リベルタス・コンサルティングに委託）。
- 犯罪被害者団体、犯罪被害者支援団体の皆様を対象に、団体の活動内容、活動実績、行政などへ求める支援ニーズなどについてうかがい、民間団体による被害者支援活動を促進するために必要な支援策などを検討するための基礎資料として活用させていただくことを目的としています。
- 質問によっては一部の方だけにおたずねするものがありますが、その場合には指示に沿ってお進みください。
- お答えを選択する形式の質問については、特に説明のない限り、お答えが当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。質問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」というように指定がありますので、それぞれ指定した数の○印を該当する選択肢の番号にご記入ください。
- 回答内容は、集合的かつ統計的に処理し、また自由回答については匿名にて取り扱いますので、ご回答者の個人名が公表されることは一切ございません。
- ご記入いただきましたアンケート票は 月 日 () までに同封の返信用封筒（切手不要）に納め、ご返送ください（代表者様向け調査、支援員・相談員様など向け調査を同梱して、ご返送下さい）。
- アンケート結果について、内閣府、株式会社リベルタス・コンサルティングからお問い合わせさせていただく場合があります。
- 本アンケート調査についてご不明な点、ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

☆お問合せ先

株式会社リベルタス・コンサルティング

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2 新橋 NKK ビル 7 階

TEL：03-5776-2810（月～金 10：00～18：00）

内閣府民間団体調査係 担当者：飯島、徳永、中野



■認定番号 第 A822382 (01) 号

I. 貴団体の概要について

【問1】 貴団体の名称、所在地、ご連絡先電話番号、設立年月日、代表者の役職・お名前・ご連絡先電話番号をご記入ください。

団体名称				
所在地※1	□非公開である			
電話番号	— —			
設立年月日※2	西暦	年	月	日
代表者役職・氏名	役職 お名前			

※1 所在地が非公開の場合は、所在地をご記入の上、「非公開である」にチェックしてください。

※2 団体として最初に発足した年月日を記入してください。例：任意団体から発足して、現在公益社団法人である場合、任意団体の発足年月日。

【問2】 貴団体の活動の範囲をおうかがいします。該当するものに○をつけてください(○は1つ)。

1 全国	2 所在地の都道府県内	3 所在地の市町村内
4 その他活動範囲を定めている(具体的に：)		

【問3】 貴団体は法人格を有していますか(○は1つ)。

1 有していない	2 有している
----------	---------

【問3-1】 前問で「2 有している」と回答した方におうかがいします。その形態として該当するものに○をつけてください(○は1つ)。

1 社団法人	2 公益社団法人	3 NPO 法人
4 認定 NPO 法人	5 財団法人	6 公益財団法人
7 その他()		

【問4】 貴団体の事務所の形態として、最も該当するものに○をつけてください（○は1つ）。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 独立した事務所がある | 2 他団体と共同で利用する事務所がある |
| 3 代表者の自宅などを事務所になっている | 4 代表者以外の会員の自宅などを事務所になっている |
| 5 事務所はない | 6 その他（ ） |

【問5】 貴団体が活動対象としている被害領域として、該当するものに○をつけてください（○は1つ）。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 犯罪被害者全般を対象としている | 2 被害領域を定めて活動している |
|-------------------|------------------|

【問5-1】 前問で「2 被害領域を定めて活動している」と回答した方におうかがいします。対象としている被害領域として該当するものに○をつけてください（○はいくつでも）。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1 殺人 | 2 暴行・傷害 |
| 3 交通被害 | 4 性的被害 |
| 5 少年による被害 | 6 児童虐待 |
| 7 ドメスティック・バイオレンス（DV） | 8 その他（ ） |

【問6】 貴団体に所属しているメンバー数（平成21年9月1日現在）をご記入ください。

	百	十	一	
a 貴団体に所属しているメンバー総数※3				人
b aのうち、常勤職員数※4				人
c aのうち、非常勤職員数※4				人
d aのうち、ボランティア数※4				人

※3 身分（常勤、非常勤、ボランティアなど）、職種（事務局員、直接支援員、電話相談員など）を問いません。

※4 ・常勤職員・非常勤職員は、団体から給与を支払っている人を計上し、ボランティアは給与の支払いを受けていない人（交通費など必要経費の支給は給与に当たりません）を計上してください。

・たとえば事務所に常駐している無給の方は、常勤職員ではなく、ボランティアに計上してください。

【問7】 事務所には、平均すると1日当たりおよそ何人が在所していますか。

百	十	一	
			人

Ⅱ. 貴団体の活動実態について

【問8】 貴団体の活動の目的・内容についておうかがいします。

①a～oの事項について、貴団体の活動内容に該当するものに○をつけてください。

②活動内容に該当するものについて、平成20年度における活動実績をご記入ください。

①活動の目的・活動内容	②活動実績（平成20年度）
※記入例 ○ a 電話相談	相談延べ件数 100 件 相談者実人数 30 人
a 電話相談	相談者実人数 _____ 人 相談延べ件数 _____ 件
b メール相談	相談者実人数 _____ 人 相談延べ件数 _____ 件
c ファックス相談	相談者実人数 _____ 人 相談延べ件数 _____ 件
d 面接相談	相談者実人数 _____ 人 相談延べ件数 _____ 件
e 訪問相談	相談者実人数 _____ 人 相談延べ件数 _____ 件
f 付添い支援 （警察、検察庁、裁判所、病院、その他）	支援者実人数 _____ 人 付添い延べ件数 _____ 件
g 一時居住場所の提供	実施件数 _____ 件 入居者延べ人数 _____ 人
h 生活資金・訴訟費用などの給付・貸与	給付総額 _____ 円 給付者延べ人数 _____ 人
	貸与総額 _____ 円 貸与者延べ人数 _____ 人
i 自助グループの運営	開催回数 _____ 回 参加者延べ人数 _____ 人
j 支援者向け研修会の開催	開催回数 _____ 回 参加者延べ人数 _____ 人
k 陳情や署名活動など行政への働きかけ	実施件数 _____ 件
l ニュースレター・機関誌などの発行	発行回数 _____ 回／年
m ホームページの開設	更新回数 _____ 回／年
インターネット掲示板の運営	☐ 有 ☐ 無
n 啓発のためのシンポジウムなどの開催	開催回数 _____ 回 参加者延べ人数 _____ 人
o その他（ ）	

【問9】 貴団体が、平成20年度に何らかの支援（前問の a～i などの活動を含む）を提供した被害者及びその家族はどのくらいですか（実人数）。

千	百	十	一

人

【問１０】前問の被害者及びその家族の数の、被害領域別の内訳はどのようになっていますか。下記の
a～hのそれぞれにつき、大まかな比率をご記入ください※５。

a 殺人				%
b 暴行・傷害				%
c 交通被害				%
d 性的被害				%
e 少年による被害				%
f 児童虐待				%
g ドメスティック・バイオレンス（DV）				%
h その他（ ）				%
合 計	1	0	0	%

※５ ・a～dとe～gが重複する場合には、e～gを優先して計上してください。
・被害が複数領域に及んでいる場合は、主な被害領域に計上してください。

【問１１】貴団体ではどのような活動に力を入れていますか。また、貴団体ならではの活動としてはどのようなものがありますか。

《自由記述》

【問１２】財政的な理由から、できないまたは十分できない活動（逆に財政状況が許せば取組みたい活動）はありますか。

《自由記述》

記入例：警察や病院などへの付添い支援における対象者や対応時間（夜間対応など）の拡大

【問１３】貴団体の平成20年度の年間予算規模はどのくらいですか。大まかな額をご記入ください。

億	千万	百万	十万	万	千	
						千円

【問14】貴団体の財源はどのように構成されていますか。下記のa～eの項目につき、それぞれ大まかな比率をご記入ください。

a 会員・賛助会員からの会費				%
b 個人や企業などからの寄付				%
c 民間助成団体からの助成金				%
d 行政からの補助金・委託費など				%
e その他（主なもの： ）				%
合 計	1	0	0	%

【問15】貴団体では、諸活動の運営にあたり、財政状況についてどのように感じていますか。最も該当するものに○をつけてください（○は1つ）。

1 苦しい	2 やや苦しい	3 余裕はないが苦しくもない
4 やや余裕がある	5 余裕がある	

【問15-1】 前問で「1 苦しい」、「2 やや苦しい」と回答した方におうかがいします。 団体運営において負担の重い費用にはどのようなものがありますか。

《自由記述》

【問16】 財源確保のために行っていることとして、該当するものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1	インターネットなどでの寄付の呼びかけ	2	啓発行事での寄付の呼びかけ
3	企業を訪問しての寄付の呼びかけ	4	街頭での募金活動
5	募金箱の設置	6	その他（ ）

【問１７】 財源確保について工夫されていることがありましたら、ご記入ください。

《自由記述》

Ⅲ. 運営上の課題・支援ニーズについて

【問18】貴団体を運営していくに際して、どのような点に困っていますか。下記のa～dにつき、最も当てはまるものに○をつけてください（○はそれぞれ1つずつ）。

	非常に困っている	やや困っている	どちらでもない	あまり困っていない	全く困っていない
a 被害者などからの相談が少ない	1	2	3	4	5
b 職員・ボランティアが少ない	1	2	3	4	5
c 相談員などがやめてしまう	1	2	3	4	5
d 団体の存在が社会に知られていない	1	2	3	4	5

【問18-1】 前問のa～d以外に、団体の運営上困っていることがあればご記入ください。

《自由記述》

【問19】貴団体は、行政機関からの支援（人的・物的支援、財政支援など）を受けていますか。以下のa～dの行政機関についてそれぞれお答えください。

①これまでに支援を受けたことがありますか（それぞれ○は1つずつ）。

②（①で“あり”と回答した方は）受けた支援はどのようなものですか。当てはまるものに○をつけてください（○はいくつでも）。

	①支援の有無	②支援の内容					
		補助金などの交付	会場の提供	減免による経費の削減 庁舎の無償又は事務所用としての	への講師派遣 研修会・講演会	広報誌・広報番組での取り上げ	ポスター・パンフ類の備付け・掲示
※記入例 a 国	① あり → 2 なし	①	2	3	④	5	6
b 都道府県	1 あり → ② 2 なし	1	2	3	4	5	6
a 国	1 あり → 2 なし	1	2	3	4	5	6
b 都道府県	1 あり → 2 なし	1	2	3	4	5	6
c 市区町村	1 あり → 2 なし	1	2	3	4	5	6
d 警察	1 あり → 2 なし	1	2	3	4	5	6

【問20】 行政機関からの支援を受けるとすれば、どのような支援を望みますか。以下のa～dの行政機関についてそれぞれお答えください（○はいくつでも）。

	補助金などの 交付	会場の提供 場所の際の	減免による貸与 庁舎の無償又は 事務所用としての	への講師派遣 研修会・講演会	での取り上げ 広報誌・広報番組	類の備付け・掲示 ポスター・パンフ
a 国	1	2	3	4	5	6
b 都道府県	1	2	3	4	5	6
c 市区町村	1	2	3	4	5	6
d 警察	1	2	3	4	5	6

【問21】 その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

《自由記述》

— ご協力ありがとうございました —